

1. 授業科目と単位：

メディア研究方法論 (○)講義 ()演習 ()実習 2 単位

2. 履修対象者：

(○)D1, (○) D2, (○)D3, (○)D4, ()D5: (○)文化科学研究科, (○)総研大の全研究科, その他
(総研大以外からの聴講参加も歓迎する)

3. 授業担当教員：青木久美子

担当教員との連絡 (e-mail、電話、FAX、研究室)：

質問は電話又は e-mail か電話又は e-mail で調整した時間の面談を歓迎する。

(kaoki@nime.ac.jp、電話 043-298-3250、FAX 043-298-3250、メディア教育開発センター 研究棟 509 号室)

4. 授業実施期日時間：

授業は月に 2 回、学期始めに設定した金曜日の午後 1 時から行う。原則として、1 授業 3 時間とし、月に 2 回行うことで 90 分 x15 回分の時間に相当させる。

5. 授業実施場所：

メディア教育開発センター研究棟 8 階、学生室セミナールーム

6. 履修条件、受講方法：

メディア研究方法論では、受講生は、社会科学的なアプローチから、定量的及び定性的な方法論を学習する。個々の受講生の博士論文研究の基礎となるものであり、博士課程に入学後 1 年以内に受講することが好ましい。なお、外国人受講者がいる場合には、基本的には英語を使用するので、英語の基礎能力は十分にあることが望ましい。

7. 授業内容の概要：

社会科学的な観点から、博士論文における研究の進め方を指導し、受講者が博士論文研究のプロセスを考えるにあたって不可欠な概念を十分に理解することを目的とする。定量的な研究の方法論を主に取り上げるが、定性的な研究の方法論も扱う。又、研究の初期段階において大変重要な役割を持つ文献レビューの方法についても詳しく取り上げる。

8. 授業の達成目標：

1. 博士論文の研究プロセスを具体的・現実的に考えられるようになること。
2. 文献レビューのための文献の収集方法・レビューの仕方を習得すること。
3. 研究の枠組みとなる概念定義・変数の選定・変数の操作的定義が行えるようになること。
4. 仮説検定の考え方、又データ分析の方法を理解すること。

9. 授業計画：

90分 x 15回分の授業に相当する内容として、下記のことを考えており、これら月2回の授業でおよそ2項目ずつ実施してゆく。

- (1) 博士論文研究を行うにあたっての心構え、考慮しなければならない幾つかの点を理解させる
- (2) 社会科学的研究のプロセスを説明し、文献レビューの仕方を学ばせる
- (3) 概念形成・概念定義の重要性を理解させ、自身の博士論文研究での概念を考えさせる
- (4) 操作的定義 (operationalization) の必要性を理解させ、操作的定義の仕方を説明する
- (5) 変数の種類について理解させ、自身の研究における変数を明確化させる
- (6) 変数の測定方法についての基本的概念を理解させ、測定方法と後のデータ分析の関連性について説明する
- (7) 定量的研究における信頼性・妥当性について理解させる
- (8) 質問票を使用しての変数の測定について、質問票の作成方法、アンケート実施における注意事項等を説明する
- (9) 標本抽出における基本的概念を理解させ、様々な標本抽出方法の長所・短所を説明する
- (10) 仮説検定の基本的概念を理解させ、自身の研究における仮説の可能性を考えさせる
- (11) 実験、アンケート調査等の様々なデータ収集の手法を説明し、理想的手法と実現可能な手法との兼ね合いを考えさせる
- (12) データ分析を行うにあたっての心構えを説明し、定量的分析の手法について理解させる
- (13) データ分析ソフトである SPSS の使用方法を習得し、SPSS によってデータ分析が行えるようにする
- (14) データ分析を行った後の結果の解釈の仕方を理解させる
- (15) 定量的研究における結果の報告の書き方を習得させる

10. 参考文献：

- Krathwohl, D.R. (2004). *Methods of Educational and Social Science Research: An Integrated Approach*. Waveland Printing, Inc.
- Nachmias, D. & Nachmias, C.F. (1999). *Research Methods in the Social Sciences*. Worth Publishers.
- Somekh, B. & Levin, C. (2004). *Research Methods in the Social Sciences*. Sage Publications.
- Maxim, P.S. (1999). *Quantitative Research Methods in the Social Sciences*. Oxford University Press.
- McIntyre, L.J. & McIntyre, L. (2003). *Need to Know: Social Science Research Methods*. McGraw-Hill Humanities/Social Sciences/Languages.

11. 単位取得要件と成績評価基準：

毎回課題を与え、それを次回の授業日に発表・提出させる。成績は、6回の課題レポートの評価、及び授業中の討論の参加度合いにより決定する。

12. その他のコメント

特になし。